



報道関係者各位

早朝のすがすがしい空気の中で咲いたばかりの蓮の花を観賞。蓮にまつわる古建築をめぐるツアーや蓮を使った遊び体験も実施します！

『早朝観蓮会』を開催します

7月17日（土）～ 8月9日（月・祝） 土・日・祝日のみ開催

横浜市が誇る名勝庭園「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2021年7月17日（土）から8月9日（月・祝）の土・日曜日・祝日の11日間、『早朝観蓮会』を開催します。

蓮は、三溪園の創設者 原三溪がとりわけ好んだ花。自らが構想した茶室を「蓮華院」と名づけ、蓮を題材にした絵も数多く遺していることから、その思い入れがうかがえます。期間中は、咲いたばかりの蓮を観賞できるよう、朝7:00より開園するほか、園内の3つの茶店では早朝観蓮会限定の特別朝食メニューを提供します。ほかに、園内に秘められた蓮を学芸員とともにめぐるツアー『蓮めぐり』や、おとなから子どもまで楽しめる葉や茎を使った遊び体験『はすあそび』も実施します。



イベント概要

- 名称 『早朝観蓮会』
- 日程 2021年7月17日（土）～ 8月9日（月・祝） 土・日・祝日のみ開催
- 時間 7:00～（閉園は17:00）
- 場所 三溪園 外苑 蓮池周辺
- 料金 無料（別途入園料が必要です）

夏の暑い時期、早朝のすがすがしい空気の中で、咲いたばかりの蓮や蓮の葉シャワーなどを観賞できます。

茶店では、早朝観蓮会限定の特別朝食メニューをご用意します。

3つの茶店それぞれに工夫を凝らした観蓮会ゆかりの味をお楽しみください。

茶店の観蓮会限定の特別朝食



雁ヶ音茶屋 中華風がゆ 850円



三溪園茶寮 朝がゆ 1,100円



待春軒 麦とろ御飯 1,000円

早朝観蓮会オプションツアー『蓮めぐり』

蓮は、泥（不浄）の中から清らかな花を咲かせるため、中国では俗世間から輩出したすぐれた人材にたとえられ、仏教では浄土に咲く花として絵画や彫刻のモチーフにされてきました。三溪園には蓮池だけでなく、古建築や石造品などいたるところに蓮が隠されています。本ツアーでは、学芸員とともに園内に秘められた蓮をめぐり、庭園の世界観と蓮の魅力に迫ります。



- 開催日 7月22日(木・祝)、23日(金・祝)、24日(土)、25日(日)、31日(土)、8月1日(日)
- 時間 8:00～9:30 ツアー 9:35～ お食事
- 定員 各日10名
- 対象 大人の方（高校生以上）
- 内容 ①学芸員ガイドツアー ②非公開の古建築2棟の見学ほか（蓮茶の試飲）
③待春軒でのお食事（「麦とろ御飯」または「三溪麺と黒蜜寒天」）
- 料金 1人あたり5,200円（入園料込み、食事つき）
※この企画の収益は三溪園の維持・管理に役立てます。
※年間パスポートの有無、年齢、お住まいに関わらず、一律の価格設定となります。
- 申込 オンラインチケットサービス Peatix からチケットを事前に購入してください。

<https://sankeien-hasumeguri.peatix.com>



遊び体験『はすあそび』

ボランティアスタッフの案内で蓮を使った3つの遊び体験ができるアクティビティをご用意しました。



- 開催日 7/17(土) ~ 8/9(月・祝)の土・日曜日、祝日
- 時間 ①7:05~7:20 ②7:25~7:40 ③7:45~8:05 ④8:10~8:30 ⑤8:35~8:55
- 定員 各回2名
- 対象 10歳以上 ※保護者の付き添いがあれば、小さなお子様も参加できます。
- 内容 ①蓮茎の糸とり体験 ②葉っぱのお面づくり ③タネの発芽処理体験など
- 料金 800円(入園料別途)
※この企画の収益は三溪園の維持・管理に役立てます。
- 申込 オンラインチケットサービス Peatix からチケットを事前に購入してください。

<https://sankeien-hasuasobi.peatix.com>





三溪園と原三溪について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家で茶人の 原三溪（1868～1939）によってつくられた、庭園・建築・美術が一体となった日本でも類を見ない近代日本庭園です。175,000㎡に及ぶ園内には、歴史的に価値の高い建造物が移築され、約20年をかけて三溪自らの構想により巧みに配置されました。古建築17棟のうち、10棟が重要文化財、3棟が横浜市指定有形文化財の指定を受けているほか、また2007（平成19）年には庭園全域が国の名勝に指定されました。1906（明治39）年5月から園内を市民に無料開放されるなど、当初から市民の憩いの場となっています。

三溪は、実業家のほかに芸術家、美術収集家としても知られ、若手芸術家の支援・育成をおこなっていました。「三溪記念館」には現在も貴重なゆかりの美術品が残されています。また2021年4月放送開始の大河ドラマで取り上げられる渋沢栄一（1840～1931）と交流をもった記録もあります。一方で、関東大震災後は横浜市復興会長に就任し、荒廃した横浜の復興にも尽力しました。

施設概要

- 施設名 三溪園（さんけいえん）
- 運営 公益財団法人三溪園保勝会
- 所在地 〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
- 連絡先 TEL 045-621-0635 FAX 045-621-6343
- 公式HP <https://www.sankeien.or.jp>
- 公式SNS Instagram @sankeien_garden
- 入園料 大人 700円 小中学生 200円 横浜市内在住の65歳以上 200円（濱ともカードの提示が必要）
- 開園時間 9：00～17：00（最終入園 16：30）
- 交通アクセス

JR 根岸線根岸駅から市営バスで10分「本牧」下車、徒歩10分

横浜駅東口から市営バスで35分「三溪園入口」下車、徒歩5分

本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当：岩本

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343 / iwamoto@sankeien.or.jp